

2009年3月期 中間決算説明会質疑応答



日 時：平成 20 年 12 月 11 日（火） 10：00～11：00

場 所：東京証券取引所 6階会議室（社団法人日本証券アナリスト協会主催）

質疑応答要旨

質 問	回 答
Q. 北京泰徳製薬の配当金は営業外収益に計上されているのですか？	A. 配当金は単体ベースの場合、営業外収益に計上されております。
Q. 持分法投資利益は半年で約 210 百万円ですか？また、キャッシュ収入との関連は？	A. LTT単体での配当金による収入は 367 百万円ですが、連結後の持分法投資利益は 215 百万円であります。なお、北京泰徳製薬につきましては 2008 年 9 月 30 日付で持分法適用関連会社より除外しました。
Q. 北京泰徳製薬の来期の配当についての見込みを教えてください。	A. 北京泰徳製薬は順調に業績を伸ばしているため、来期は約 400 百万円と見込んでおります。
Q. 配当の金額について、御社は北京泰徳製薬に対し影響力はありますか？	A. 北京泰徳製薬の設立経緯もありますので影響力が全くないことはありません。
Q. 来期以降も北京泰得製薬から配当額を受けられることができる保証はありますか？	A. 見込みはありますが、保証はありません。
Q. 説明会資料と会社案内では従業員数が違うのはどうしてですか？	A. 会社案内では役員数は除外しております。一方、説明会資料の人員推移では役員も含め担当業務ごとに集計しております。
Q. 資料の中で、ライセンスアウトの見込みが楽観的に見受けられますが、それらの根拠を教えてください。 例えば AS-013 について過去にアメリカにおける臨床試験が失敗しています。	A. アメリカにおける失敗につきましては、用量設定や期間などプロトコールにいくつかの問題があったと考えられます。これらのプロトコールの改善により成功の可能性は高いと予想されます。
Q. ライセンス活動について、御社のどなたがどのような形で行っているのか教えてください。	A. ライセンス先は日本に限定せず、アジア・欧米等すべてを考えております。またライセンス活動は臨床開発部長を中心に、一部は外部のコンサルタントにも協力頂いた上で推進しております。
Q. ライセンス活動とは、ただ資料を送付するだけの活動ですか？	A. もちろん先方に直接訪問し、Face to Faceで行っております。

<p>Q. ライセンス活動の進捗状況を教えてください。</p>	<p>A. 具体的には申し上げられませんが数社からポジティブな回答をいただいております。現在内容を詰めているところです。</p>
<p>Q. AS-013 は過去に一度開発に失敗した薬であり、今後、再度開発を試みる企業が現れるとお思いですか？</p>	<p>A. 欧米に関しては、その確率が低いと考えております。 リポ PGE1 という製剤はアジア（日本・中国・韓国）で販売されており、その有効性はすでに確認されております。AS-013 はリポ PGE1 に比して優れているということが確認されており、リポ PGE1 で有効性が確認されている国では比較的少ない臨床試験で認可が取れる可能性がありますので、アジアということを考えればライセンスアウトの可能性は十分にあると考えております。また、その次のステップとしてこれらアジアでのライセンスアウトを実績として欧米へ向かうことも想定されます。</p>
<p>Q. 詳細は申し上げられないかも知れませんが NSAIDs の有用性について説明をしていただけませんか？</p>	<p>A. 論文等でも公表しておりますので、内容をご説明いたします。 NSAIDs 自身が胃粘膜細胞を傷害するというのを私(当社取締役会長 水島徹)が発見しました。 そのため、膜障害性のない NSAIDs をつくるための考え方や特許はすべて持っております。現在のところ、スクリーニングもほぼ終了し、形になってきておりますので、今後、膜障害性のない NSAIDs の特許が取得でき次第公表いたします。</p>
<p>Q. EIP 製品はどちらで製造されるのですか？</p>	<p>A. 現状は徳島県のマシンパーツ社で製造しております。今後、生産量が増えれば別の生産手段も検討していきたいと考えております。</p>

<p>Q. 今後のキャッシュフローの見込みを教えてくださいいただけますか？</p>	<p>A. 創薬のライセンスアウトによるキャッシュインは除いて、キャッシュインおよびアウトはほぼ同額と見込んでおります。ライセンスアウト時にはキャッシュフローは大幅プラスに転じると考えております。</p>
<p>Q. 資金調達の前定はありますか？</p>	<p>A. 現在のところ、外部からの調達については検討しておりません。</p>
<p>Q. 訴訟の進捗について教えてくださいいただけますか？</p>	<p>A. 訴訟関係の案件は今まさに進行しているところですので、具体的に申し上げることができません。新たな事実が判明し次第、公表してまいります。</p>